



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年1月28日

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4973 URL https://www.netjpc.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 渡辺 雅夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小坂 悟 TEL 03-3550-1048  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,278	17.0	884	24.2	1,017	23.9	749	22.0
2021年3月期第3四半期	12,204	29.7	711	△6.4	821	△7.6	614	△6.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	128.34	126.98
2021年3月期第3四半期	106.10	104.58

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	17,770	14,919	83.4	2,532.22
2021年3月期	16,149	13,249	81.1	2,259.10

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 14,824百万円 2021年3月期 13,095百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2022年3月期	—	40.00	—		
2022年3月期 (予想)				40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	2.3	1,090	14.1	1,200	12.2	870	10.1	150.08

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	6,317,200株	2021年3月期	6,317,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	462,819株	2021年3月期	520,283株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	5,836,234株	2021年3月期3Q	5,788,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期業績の概要は以下の通りであります。

電子部品業界におきましては、5G対応スマートフォンとそのインフラ関連やリモートワーク、オンライン学習の浸透に伴うデータセンター関連、また工場や医療などのデジタルトランスフォーメーション向けIoTデバイスの需要に支えられ、一部の半導体や電子部品で供給不足の影響があったものの、総じて堅調に推移しました。一方、車載用電子部品については、自動車の需要動向は堅調ながらも、コロナウイルス感染拡大による東南アジアからの部品供給の滞りや半導体供給不足を解消できず、自動車生産に影響を与えました。

当社におきましては、プリント基板・半導体搭載基板用めっき薬品の販売が、5G対応スマートフォン、データセンター関連の需要により堅調に推移しました。コネクタ用めっき薬品の販売については、車載向けで滞りが見られたものの、5G対応スマートフォン向けなどの需要増加に支えられ、堅調に推移しました。リードフレーム用めっき薬品の販売については、貴金属パラジウム価格の高止まりにより好調に推移しました。

その結果、売上高は14,278百万円（前年同四半期累計期間比17.0%増）、営業利益は884百万円（前年同四半期累計期間比24.2%増）、経常利益は1,017百万円（前年同四半期累計期間比23.9%増）、四半期純利益は749百万円（前年同四半期累計期間比22.0%増）となりました。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用4,683百万円、コネクタ・マイクロスイッチ用2,251百万円、リードフレーム用7,237百万円、その他105百万円であります。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2021年3月末	2021年12月末	増減額	
			増減額	主な増減理由
流動資産	8,096	7,891	△205	現金及び預金△544、受取手形及び売掛金+376
固定資産	8,053	9,878	1,825	投資有価証券+1,918
資産合計	16,149	17,770	1,620	—
流動負債	1,042	357	△685	買掛金△472、未払法人税等△67
固定負債	1,857	2,493	636	繰延税金負債+636
負債合計	2,900	2,851	△48	—
純資産合計	13,249	14,919	1,669	利益剰余金+272、 その他有価証券評価差額金+1,324
負債純資産合計	16,149	17,770	1,620	—

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2021年4月23日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,369,972	3,825,361
受取手形及び売掛金	2,612,183	2,989,080
商品及び製品	253,549	392,310
原材料及び貯蔵品	534,104	387,189
その他	327,125	297,580
貸倒引当金	△313	—
流動資産合計	8,096,622	7,891,522
固定資産		
有形固定資産	210,343	143,387
無形固定資産	76,245	50,027
投資その他の資産		
投資有価証券	7,723,637	9,641,849
その他	43,000	43,634
投資その他の資産合計	7,766,638	9,685,484
固定資産合計	8,053,227	9,878,899
資産合計	16,149,849	17,770,422
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	619,169	147,024
未払法人税等	145,610	77,709
賞与引当金	60,423	30,408
その他	217,686	102,462
流動負債合計	1,042,889	357,603
固定負債		
長期末払金	180,882	180,882
繰延税金負債	1,636,458	2,272,759
資産除去債務	40,035	40,147
固定負債合計	1,857,375	2,493,788
負債合計	2,900,265	2,851,392
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,283,196	1,283,196
資本剰余金	1,026,909	1,026,909
利益剰余金	7,877,256	8,149,448
自己株式	△1,212,677	△1,078,759
株主資本合計	8,974,685	9,380,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,117,311	5,441,709
繰延ヘッジ損益	3,837	2,051
評価・換算差額等合計	4,121,148	5,443,760
新株予約権	153,750	94,473
純資産合計	13,249,584	14,919,029
負債純資産合計	16,149,849	17,770,422

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
売上高	12,204,577	14,278,429
売上原価	10,732,186	12,647,401
売上総利益	1,472,391	1,631,027
販売費及び一般管理費	760,824	746,992
営業利益	711,567	884,035
営業外収益		
受取利息	36	22
受取配当金	108,584	128,433
為替差益	—	188
その他	2,526	5,167
営業外収益合計	111,147	133,812
営業外費用		
為替差損	1,289	—
その他	1	0
営業外費用合計	1,290	0
経常利益	821,423	1,017,846
特別利益		
固定資産売却益	240	—
新株予約権戻入益	3,410	1,158
特別利益合計	3,650	1,158
特別損失		
固定資産除却損	0	820
特別損失合計	0	820
税引前四半期純利益	825,074	1,018,184
法人税、住民税及び事業税	183,884	216,564
法人税等調整額	27,021	52,583
法人税等合計	210,906	269,147
四半期純利益	614,168	749,037

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

1 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を、第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、顧客への販売における当社の役割が代理人に該当する取引について、従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から商品の仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期累計期間の売上高及び売上原価は204,663千円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

2 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報）

当社は、貴金属めっき用薬品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。